

<奨学金給付型大学公式派遣プログラム>

2022年度海外留学支援制度(協定派遣)によるインドネシア・国立スラバヤ大学学生交流プログラム ～海外での日本語指導・日本語教育学習を通じた外国人児童生徒支援リーダー育成プログラム～ 募 集 要 項

1. 目的

本学の所在地である愛知県は外国にルーツを持つ児童生徒の数がとりわけ多い地域として知られるが、昨今その数は急速に増加している。そうした状況においては、日本語指導ができる教員だけでなく、地域や学校において外国人児童生徒支援を引っ張る人材の育成が喫緊の課題である。外国人児童生徒支援で指導的な役割を担うには、深い日本語教育の知見と日本語指導に関する多様な経験が不可欠である。とりわけ後者に関しては、海外の日本語教育事情や教授スキルを学ぶこと、海外で外国語を用いて日本語を教える経験、多言語・多文化社会の体験、さらには自身が文化的・言語的なマイノリティとして実際に過ごす経験を持つことが非常に重要である。そうした言語・文化一般についての広い知見、経験を持つことで、外国人児童生徒に対する日本語指導のスキルだけでなく、彼らに対するエンパシー（共感力）も向上すると期待する。

そこで、本プログラムでは、本学の協定校であり、日本語学科を持つインドネシアの国立スラバヤ大学 (Universitas Negeri Surabaya, UNESA) での日本語を教える経験や学生同士の交流を通じて、自身が異文化に身を置き、日本語がマイノリティである社会に身を置くことで外国人児童生徒支援の在り方についてリフレクションを行う。最後には総括的な学生シンポジウムをインドネシアの学生と共同で企画開催し、自身の学びを深めるとともに、他に波及させる。

このようなプログラムを実施することで、外国人児童の最も多い地域の一つにある大学として、また、広域拠点型教員養成大学として、地域の教育の質向上を図る。

2. プログラム内容

(1) 期間 (全 37 日間)

2023年2月16日出発 (2月17日スラバヤ着) 3月23日スラバヤ出発、3月24日帰国

※新型コロナウイルスの感染状況等、事情によっては37日より現地実習が短くなり、一部をオンラインに変更する場合があります。

※担当教員が一週間程度現地で引率をします。

※期間中の行事・ガイダンス・授業予定等について、必ず事前に教務企画課へ確認をし申込むこと。

(2) 内容

(1) 事前指導 (インドネシアについて、東南アジアの文化、歴史、政治を学ぶ等)

(2) 事前準備 (パスポート取得、保険、危機管理、心構え、健康管理等)

(3) スラバヤで予定している活動、行事

- ・オリエンテーション、大学内見学、大学教職員と懇談
- ・日本語教育実習 (準備や相談、見学などをした後、実習)
- ・大学内外でのレクチャー聴講
- ・学生との交流 (日本語を専攻する学生、学内サークル等)
- ・スラバヤ市内・郊外の観光、小旅行、田舎暮らし体験等

(4) 事後指導（現地での体験を通じて学んだことをどのように今後活かすかを考える等）

※スラバヤでの行事内容の詳細は、国立スラバヤ大学の先生方と相談しながら決めていきます。現時点では、細部（何月何日に何をするか、といったこと）まで示すことができません。

質問等がある場合は、日本語教育講座 北野浩章教授（kitano@aeu.ac.jp）までメールで問い合わせてください。

3. 募集人数

最大 10 名

4. 募集対象者

本プログラムへの参加を希望し、以下の要件を満たす者とする。

(1) 日本国籍を有する者又は日本への永住が許可されている者

（パスポートを所持しない場合は参加が確定してから取得してください）

(2) 本学に在籍する学部 1～4 年生、大学院 1、2 年生で心身ともに健康で海外滞在に支障がない者

(3) 渡航 1 ヶ月前までに新型コロナウイルス感染症のワクチンを 3 回接種済みである者又は接種予定である者

(4) 本プログラムの事前・事後指導に必ず参加できる者

(5) 本プログラム終了後、報告書等の作成等に必ず協力できる者

(6) 学業成績が優秀で人物等に優れており、かつ、次に定める方法で求められる、前年度の成績評価係数が 3.00 満点で 2.30 以上であること（大学院 1 年生の場合は、出身大学の成績から算出）。

学部 1 年生の場合は別途対応しますので国際交流センターに相談すること。

※① [成績評価係数の算出方法] をもとに「成績評価ポイント」を換算し、小数点第 3 位を四捨五入して算出する。

② 成績評価係数が 2.00 以上 2.30 未満の場合は事前に国際交流センターに相談すること。

5. 費用

渡航費：スラバヤ往復の航空運賃は未定ですが、15～20 万円ほどと予想しています。

滞在費：ホームステイや、学内宿泊施設を提供していただく予定です。スラバヤのホテルを利用するならば、安いところで 1 泊約 2,000 円のように。

その他：飲食費（日本よりずっと安いです）。国内交通費、実習にかかる経費、その他生活をしていく上でかかる経費等。

海外旅行保険料：約 1 万円

（航空券の価格等により、必要経費の総額は変動します）

なお、奨学金として、14 万円を支給します（ただし、帰国後の支払いとなります）。

6. 募集期間

2022 年 10 月 24 日（月）～11 月 11 日（金）

※実施説明会を、11 月 1 日（火）の 12 時 30 分から教育交流館 1 階グローバルコモンズ IIで開催しますので、興味のある人は参加してください。

7. 応募手続き

本プログラムへの参加を希望する者は、次の書類を提出すること。

- (1) 2022 年度学生交流プログラム参加申込書
- (2) 成績証明書
- (3) 新型コロナウイルス感染症ワクチン接種証明書 (最終提出期限: 渡航 1 ヶ月前)

8. 選考方法

書類選考 (必要に応じて面接を実施する場合がある)

9. 申込書類提出先・問合せ先

国際交流センター (教育交流館 1 階)

T E L : 0566-26-2178、2179

E-mail : kokusaikoryu@m.auecc.aichi-edu.ac.jp

【成績評価係数の算出方法】

成績評価	S	A	B	C	D
評価ポイント	3	3	2	1	0

(計算式)

$$\frac{(\text{「評価ポイント3の単位数」} \times 3) + (\text{「評価ポイント2の単位数」} \times 2) + (\text{「評価ポイント1の単位数」} \times 1) + (\text{「評価ポイント0の単位数」} \times 0)}{\text{前年度の総登録単位数}}$$